



2. 自然災害【地震や台風】

日本は、地震の発生が多い国のひとつです。いつどこで地震が起きてもおもてつきではありません。また、夏から秋にかけては、多くの台風がやってきます。こういった自然災害での被害を少なくするためには普段から防災対策をととのえ、いざというときは落ち着いて行動することが大切です。



1. 地震

地震の揺れの大きさ

震度は、地震動の強さの程度を表すもので、現在 10 段階あります。

震度階級	揺れの程度	震度階級	揺れの程度
0	人は揺れを感じない。	5 弱	多くの人が身の安全を図ろうとする。家具が移動することがある。
1	屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。	5 強	多くの人が行動に支障を感じる。タンスなどが倒れることがある。
2	眠っている人の一部が目覚めます。電灯などの吊り下げものがわずかに揺れる。	6 弱	立っていることが困難になる。固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。
3	屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。棚の食器が音を立てることがある。	6 強	這わないと動くことができない。多くの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
4	眠っている人のほとんどが目覚めます。電灯は揺れ、棚の食器は大きく音を立てる。	7	自分の意思で行動できない。ほとんどの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。

数字が大きいほど強い揺れとなります。

また、大きな地震（本震）の後、何度も揺れが起こります。これを「余震」といい、まれに本震の揺れと同じくらいゆれたり、何度もおこったりすることがあるので、警戒が必要です。

[明日おこってもおかしくない！ 東海地震にそなえましょう。](#)

東海地震

日本は地震の多い国ですが、特に静岡県は4枚のプレートが接している特異な場所にあり、今まで100～150年周期で巨大な地震が起きています。前回の地震(1854年)から150年以上たっており、いつ起きてもおかしくありません。

気象庁では、静岡県を中心とする東海地域に設置した地震計やひずみ計等の観測に基づき、24時間体制で状況を監視しています。異常な変化が見られた場合は、危険度に応じて「観測情報」「注意情報」「予知情報」の3つの情報が段階に応じて発表されます。「予知情報」が発表された場合は、気象庁長官は内閣総理大臣へ報告し、閣議で決定した後、静岡県の全域を含めたすべての市町へ「警戒宣言」を発令します。

東海地震観測情報・・・

東海地震の前兆現象であるとしてすぐに判断できない場合や、前兆現象とは関係がないことがわかった場合に発表されます。電気・ガス、水道、電話のサービス供給や公共交通機関の運行、商店などの営業も平常どおりです。テレビやラジオなどで正確な情報を入手してください。

とうかいじしんちゆういじょうほう
東海地震注意情報

ぜんちようげんしよう か のうせい たか みと
前兆現象の可能性が高まったと認められた場合に発表されます。

とうかいじしんよちじょうほう
東海地震予知情報

とうかいじしんはつせい はんだん ば
東海地震発生のおそれがあると判断した場合に発表されます。気象庁長官は、内閣総理大臣に報告し、「警戒宣言」が発令されます。

けいかいせんげん
警戒宣言

ないかくそう り だいじん はつれい にち い
内閣総理大臣が発令します。「2・3日以内（または数時間以内）にマグニチュード

	とうかいじしんちゆういじょうほう はつびよう 東海地震注意情報が発表されたら？	けいかいせんげん はつれい 警戒宣言が発令されたら？
でんき すいどう 電気・ガス・水道	しよう 使用できる (水道水はためておく)	しよう つか 使用できるができるだけ使わない
でんわ 電話	しよう りようしゃ 使用できる(ただし、利用者が まきゅう ふ 急に増えるとながりにくくなる)	しよう 使用できる
バス	げんそく うんこう 原則として運行される	ちより あんぜん てい そうこう 最寄の安全なバス停まで走行 し、運行中止
てつどう 鉄道	げんそく うんこう 原則として運行される	ちより あんぜん えき そうこう 最寄の安全な駅まで走行し、 ていしゃ 停車
どうろ 道路	つうこう 通行できる	しんかんせん こうつうきせい 新幹線などで交通規制あり
デパート	ぶがんでき だんかいてき えいぎょうちゆうし 部分的または段階的に営業中止	げんそく えいぎょうちゆうし 原則として営業中止
コンビニ等	えいぎょう 営業している	たいしんせい たか てんば えいぎょう 耐震性の高い店舗は営業して いる
ぎんこう 銀行	えいぎょう 営業している	えいぎょうちゆうし いちぶ 営業中止(一部のATMは営業 している)
びょういんなど 病院等	げんそく がいらい しんりようせいげん 原則として外来は診療制限が きゅうかん のぞ ある(急患を除く)	がいらいしんりょう ちゆうし きゅうかん のぞ 外来診療は中止(急患を除く)
がっこう ようちえん 学校・幼稚園	じ どうとう あんぜん かんが 児童等の安全を考え、帰宅ま たは保護者へ引き渡し	へいこう へい園 閉校・閉園

8 程度の大地震（東海地震）が発生し、静岡県全域を含む地域が震度 6 以上の地震の揺れに襲われる」という警告であり、「安全の確保や防災準備を行ってください」という指示です。市町でサイレンが鳴ります。

わたしたちは何をやるの？

テレビやラジオで情報確認... 正確な情報

を知ることが大切です。うわさ話にまどわされないように注意してください。

児童・生徒の引き取り(注意情報)...

日頃から学校と連絡を取り合ひましょう。

非常持ち出し品を再確認(注意情報)... チェックリストで確認し

ましょう。

家の中を再点検(注意情報)... 家族で決めてある役割・計画に

従って行動しましょう。高いところに物を置いていないか、出入口の確保、家具や食器棚の固定は大丈夫か確認しましょう。

あらかじめ指定されている危険地域はすばやく避難(警戒宣言)...

津波、山崩れ、がけ崩れなどの危険予想地域では、早く避難をしましょう。家の内外の安全なところで地震発生にそなえます。

火をださない対策(警戒宣言)... 火を使わないでください。ガスの

元栓をしめ、プロパンガスはボンベのバルブも締めましょう。必要のない電気器具のコンセントは抜き、外出するときはブレーカーを切りましょう。



突然、地震がおきたら（行動マニュアル）

- ・ 激しい揺れは1分程度続きます。あわてて外に飛び出さないでください。落ち着くこと。
- ・ 自分の安全確保が一番重要です。
- ・ 本震のあとは余震が続けて発生します。
- ・ 小さなケガは家族で手当てしましょう。
- ・ 火災が発生してもあわてずに消火しましょう。
- ・ 消火活動は隣近所みんなに呼びかけて、協力しましょう。
- ・ 自宅を離れるときは、家族の安全、行き先などがわかるように伝言メモを残しましょう。
- ・ 戸締りを忘れずにおこないましょう。
- ・ 正確でないうわさ話に注意してください。最新の正確な情報を入手しましょう。
- ・ 電話の使用はできるだけ控えましょう。安否の情報は「災害用伝言ダイヤル171」を利用しましょう。
- ・ 避難所は共同生活の場です。決められたルールを守り、お互い助け合いましょう。
- ・ 体の不自由な方や負傷者などに心遣いをしましょう。
- ・ 数日間は物資の援助は期待できません。日頃の備えの大切さがわかる
ときです。しばらくは非常持ち出し品や備蓄食で生活をしましょう。



はっせいじ じょうきょう 発生時の状況	こうどう 行動マニュアル
<p style="text-align: center;">おくない 屋内 (たてものの中)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ぐらっときたら、机の下にもぐるなどして、まず身の安全を図る。 揺れがおさまったら、すばやく火を始末。 戸口をあけて出口の確保。 外に出るときは落下物や倒壊物に注意して、あわてずに行動する。 歩いて避難場所へ移動。 近くの人と協力してできること（応急救護）をする。できるだけラジオなどで最新の情報を入手する。
<p style="text-align: center;">エレベーターの 中</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全部の階のボタンを押してみる。 止まったところで降りられないか試す。 (自動着床装置がついていれば、最寄りの階に止まるようになっている)。 電気が止まってドアが開かない場合は、「非常用連絡ボタン」を押し続けて、連絡を待つ。
<p style="text-align: center;">おくがい 屋外 (たてもの外)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 看板などの落下物やブロック塀などが倒れてくる危険性もあるので注意。 上下左右を確認し、近くの最も安全と判断できる場所で身を守る。
<p style="text-align: center;">くるまうんでんちゆう 車を運転中</p>	<ul style="list-style-type: none"> ハンドルをしっかりと握って徐々にスピードを落として停車させる。 救急車や消防車などの緊急車両が通れるよう、道路の中央はあけておく。 キーはつけたまま、ドアロックはせずに、歩いて避難する。
<p style="text-align: center;">でんしゃ 電車などの車内</p>	<ul style="list-style-type: none"> つり革や手すりに両手でしっかりとつかまる 電車が線路の途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。 運転士や乗務員の指示に従う。

ひじょうも だ ひん
非常持ち出し品チェック

リスト(例)

つぎ ようい
次のようなものを用意しておきましょう。

1) 非常持ち出し品チェックリスト(例)

- | | | | | | |
|---|--|--|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ
 | <input type="checkbox"/> 懐中電灯
 | <input type="checkbox"/> 予備の乾電池
 | <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災頭巾
 | <input type="checkbox"/> 非常食(3日分)
 | |
| <input type="checkbox"/> 飲料水
 | <input type="checkbox"/> ライター・マッチ
 | <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー・
トイレトイレットペーパー
 | <input type="checkbox"/> ナイフ・かんきり
 | <input type="checkbox"/> スプーン・はし・カップ
 | |
| <input type="checkbox"/> 下着・くつ下
 | <input type="checkbox"/> 救急薬品・常備薬
 | <input type="checkbox"/> 現金(硬貨も)
 | <input type="checkbox"/> タオル
 | <input type="checkbox"/> 手ぶくろ
 | |
| <input type="checkbox"/> 筆記用具・ノート
(サインペンなど)
 | <input type="checkbox"/> 雨具
 | <input type="checkbox"/> 毛布又は寝袋
 | <input type="checkbox"/> ビニール袋
 | <input type="checkbox"/> リュックサック
 | <input type="checkbox"/> 生理用品
 |

2) 備蓄品チェックリスト(例)

- | | | | | |
|---|---|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 飲料水
 | <input type="checkbox"/> 食料品
 | <input type="checkbox"/> 衣類
 | <input type="checkbox"/> 卓上コンロ(ボンベ)
 | <input type="checkbox"/> ロープ
 |
| <input type="checkbox"/> 一人あたり1日
3リットルの水を3日分 | <input type="checkbox"/> 7日分うち調理不要の
非常食3日分程度 | <input type="checkbox"/> 季節に応じ
ジャンパーなど | <input type="checkbox"/> ビニールシート
(敷いたり雨よけ)
 | <input type="checkbox"/> 布製ガムテープなど
 |
| | | | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ
 | |

―夜、寝ているときも―

身近な所に、懐中電灯、ラジオ、靴またはスリッパなどを置いておきましょう。(素足では、割れたガラスでケガをします。)



―赤ちゃんのいる家庭では―

ミルク、哺乳ビン、離乳食、スプーン、オムツ、清浄綿、おふい紐、バスタオル又はベビー毛布、ガーゼ又はハンカチなどを追加。



さいがいようでんごん

災害用伝言ダイヤル 171

さいがいはっせいご かぞく しん あんび かくにん
災害発生後、家族や親せきなどの安否を確認したいとき、NTTの

「災害用伝言ダイヤル」(171)があります。被災者
の方が録音した安否情報などを全国の「災害用伝
言ダイヤルセンター」を通じて確認することがで
きます。携帯電話からも利用できます。



ろくおん さいせいじ ほうほう ろくおんじかん でんごん ひょういなし
録音 / 再生時のダイヤル方法 (録音時間 / 1 伝言 30 秒以内)

ろくおん ろくおん でんわばんごう
録音するときは..171-1-0××-×××-×××× (録音したい電話番号)

さいせい き でんわばんごう
再生するときは..171-2-0××-×××-×××× (聞きたい電話番号)

まいつき ついたち がつ ついたち みつ か じかんたいけんりよう
毎月 1 日と 1 月 1 日～3 日は 24 時間体験利用ができます。

じつさい たいけんれんしゅう
実際に体験練習をしてみましょう。

かいがい りよう
海外からは利用できません。

地震の二次被害に備える

地震の二次被害としてもっとも多いのが、火災です。火災を防ぐた
めには、すばやく火の始末をすることが大事です。大きな揺れがおさ
まったら、使用中のガス器具、ストーブなどをすばやく消火しましょ
う。ガス器具は元栓を締め、電気器具は電源プラグを抜きましょう。
避難する場合は、ブレーカーを切ってから避難し
ます。万が一 出火したら、隣近所に声をかけ、協
力しあって初期消火につとめましょう。



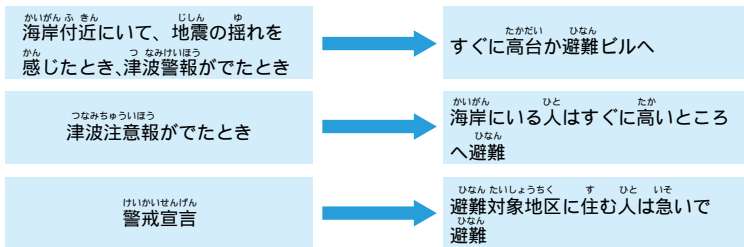
2. 津波

地震のあとは津波が発生することがあります。津波は、ラジオやテ
レビの情報よりも早くやって来ることがありますので、揺れを感じた
ときは、すぐに海岸から離れ、急いで高台など安全な場所へ避難しま

しょう。津波は2回、3回と繰り返し襲ってきます。津波がきたら1
 回目です。安心して、警報や注意報が解除さ
 れるまで、海岸付近には近づかないでく
 ださい。津波は、必ずしも1波目が最大
 とは限りません。少なくとも12時間以
 上は警戒が必要です。前もって避難経路
 やかかる時間を自分で歩いて確認をしておきましょう。



地震だ、津波だ、すぐ避難！



地域の防災活動に参加しよう・・・自分の命は自分で守る。自分の
 地域はみんなで守る。一人ひとりが自主防災組織のメンバーです。

個人や家族の力だけでは限界があります。隣近所の人たちがお互い
 に協力しあい、防災活動に取り組むことが重要です。9月1日は防災
 の日、8月30日～9月5日は防災週間です。日ごろから地域の防
 災訓練には積極的に参加し、防災行動力を身につけましょう。

- 防災訓練に家族全員で参加しましょう。
- 大規模な災害が発生したら、積極的に初期消火や救出救助などの活動に取り組みましょう。
- 地域には防災に関係するさまざまな人たちがいます。いざという時

には、お互いが協力しあい、一丸となって防災活動に取り組みましょう。

静岡県地震防災センター

地震防災センターでは地震についての知識や心得が体験を通じて学ぶことができます。地震、消火、火災避難コーナーなどを体験できるコーナーのほかに津波コーナーでは屋内水槽で津波の実態を確認できます。非常持ち出し品を展示してあるコーナーもあります。

〒420-0042 静岡市葵区駒形通5丁目9番1号

TEL 054-251-7100 FAX 054-251-7300

開館時間 9:00 ~ 16:00 (月曜日、年末年始は休みです)

入館料 無料

防災情報はホームページでも提供しています。

静岡県地震防災センター <http://www.e-quakes.pref.shizuoka.jp/>

静岡県防災局 <http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/>

3. 台風

台風は6月から11月に多く発生します。台風が近づいてきたら、天気予報と注意報によく注意してください。特に外での活動、魚つり、水泳、ボート等は津波が心配なので注意報をよく聞きましょう。電車や新幹線など交通網の乱れにも注意しましょう。

台風へ備えて

- ・外においてあるもの、例えば自転車などは吹き飛ばされないように、移動または固定しましょう。
- ・シャッターをしっかりと閉めましょう。
- ・避難用品を用意しておきましょう。
- ・洪水と地滑りに注意しましょう。